

質疑

後期高齢者医療で、外国人で75歳以上の方がどれくらいいるか。きちんとこの仕組みが使われているか。

答弁

平成24年4月1日現在、75歳以上の方が8人。また、65歳から74歳でも障害がある方が1名。すべて、対象として受給している。

平成24年度
補正予算

一般会計補正予算

補正額 2千508万5千円
総額 212億3千208万5千円
主な内容

野菜集団産地整備事業、理科支援員配置事業等への補助金が認められました。全額県補助金のため、歳入・歳出とも同額の補正となります。

質疑

ミニトマト袋詰め、パック

詰め設備の導入で、生産者に利益が上がるのか。

答弁

出荷作業に費やす時間を栽培管理に充てることにより、約1割、生産量を増やすことができる。1千700万円の増収を見込んでいる。

同意

次の選任に同意しました。

固定資産評価審査委員会

委員

浅井 裕久 氏 (二子町)

公平委員会委員

堀田みどり 氏 (佐屋町)

教育委員会委員

平野 英治 氏 (山路町)
渡邊祐香理 氏 (草平町)

討論

陳情第3号

賛成討論

愛西市民にとっても、愛西市政に関しても、また市役所の労働者にとっても、前向きでよい項目がたくさんある。

委員会の反対討論でも、理解できる項目もあると述べられているが、陳情項目の中で賛成できる項目の1点、2点の意見書を出して、陳情者の意思に添う努力を愛西市議会でもすることが大事だ。

反対討論

多岐にわたる内容を一括して意見書、要望書としての提出を求めることに疑問を持つ。最低賃金を全国一律に引き上げよとの陳情では、経営の苦しい中小企業の人員削減をさらに加速させる。

地方分権が叫ばれる中、責任ある自治体として、この陳情には反対。

議会活性化協議会

議会活性化協議会は、平成22年8月に設置され、各会派代表者（一人会派や無所属議員も含む）で構成し、計11回の会議を開催してきました。先進地を真似て「議会基本条例」を制定するのは簡単です。しかし、愛西市議会では、ひとつひとつ実際にしくみを変えながら実効性のある改革を進めて参ります。

進めており、最終的にその改革内容を「議会基本条例」としてまとめる手法をとっているのが特徴です。現在までに、協議会が議長に対して答申し、改革された項目は次の通りです。今後、市民の皆さんに信頼される議会を目指し、改革を進めて参ります。

これまでの検討結果

- ・議長交際費のホームページ公開 (平成23年4月から)
- ・議長交際費のホームページ公開 (平成24年度から)
- ・議会(本文)のホームページ公開 (平成24年6月議会)
- ・議決結果一覧表のホームページ公開 (平成23年6月議会から)
- ・陳情の議員問討議 (平成24年9月議会から)
- ・審議会などへの議員参画の見直し (平成24年4月から)
- ・全会協議会での行政視察報告 (平成24年度から)
- ・議会議員の政治倫理条例の制定 (平成24年6月議会)